

教科	家庭		科目	生活教養	
単位数	2単位	開講年次	3	使用教材	準教科書「楽しく学べるマナーの基本」 教材費 ¥1,000
分類・帯	食と福祉系列・R1				
科目説明	人と人とのふれあいや、社会との関わり合いを大切にしながら、主体的に生きていく資質を養う科目です。日本の文化と伝統を大切に する気持ちを深めるとともに、諸外国の生活や文化を理解し、人間としての生き方・在り方を考えていきます。				
選択生徒像	日常生活にかかせないマナー、一般常識を身に付けたいと考えている生徒、茶道・浴衣の着付けなど日本の伝統文化に興味関心のある 生徒。				
選択条件	なし				
備考	場合によっては、徴収金額が変更になることもあります。				
目標	日本の文化と伝統を大切にすることを深め、諸外国の生活や文化を理解し、国際人としての基本のマナーや倫理観を身に付ける。				
評価方法	知識・技能: 思考・判断・表現: 主体的に学習に取り組む態度 = 4:3:3 ・授業態度 ・学習プリント ・定期考査 ・実技試験				
学期	月	単元		指導内容	
前 期	4	茶道 略点前(お盆点)		茶道の基本である、相手を思いやる心を養う。	
	5	服装・みだしなみ ・洋装の基本マナー ・和装の基本マナー		T.P.Oにに応じた服装を考え、場にふさわしいものであることを心がける。	
	6	・制服の活用 ・正装と外出着		・高校生らしい服装・制服の着こなしを理解できる。 ・日本の伝統である服装を理解することができる。	
		前期中間考査			
	7	日本の伝統		・日本の伝統和装である浴衣を1人で着られるよう実践する。	
	9	茶会 儀式への出席		・茶会の形式を理解し、実践することができる。 ・冠婚葬祭へ出席する際のマナーを理解する。	
前期期末考査					
後 期	10	茶道 薄茶風炉の運び点前		・風炉の薄茶点前を習得し、茶道の精神を養う。	
	11	茶道 薄茶風炉の運び点前		・茶会を自分たちでとりおこなうことができる。	
	12	後期中間考査			
		食文化とマナー		・日本の食文化について理解する。 ・日本料理、西洋料理、中華料理の食事のマナーについて理解する。	
	1	もてなし方 年中行事		・もてなしという日本古来からあるものを理解する。 ・緑茶、紅茶の入れ方を理解し、実践することができる。 ・日本の伝統的な年中行事について理解する。	
	2	学年末考査			
3					